

★学校教育目標	○学び考えを深める子 ○思いやりの心をもち行動できる子 ○がんばりぬく子 ○身体をきたえる子	★重点計画の概要 教育のまち「日野」の理念である第2次学校教育基本構想を土台とし、人間尊重の精神を基調に、心身ともに健康で、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応する生きる力を育む教育を推進する。そのため、「生きる喜びにあふれ」「ともに知恵を出し合い」「地域をステージとした」教育を推進し、児童の学びに向かう21世紀型能力を養う。
★目指す学校像（ビジョン）		
【めざす児童・生徒像】	思いやりの心をもち、心身ともに健康で、進んで学ぶ意欲とたくましく生きる力を育む児童	
【めざす学校像】	挨拶と歌声と笑顔があふれ、子供たちの成長を児童・教職員・保護者・地域のみんなで喜び合える学校	
【めざす教師像】	すべては子供たちの明るい笑顔と未来のため、自ら学び続け、子供とともに成長する教師	

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標		成果指標
いのち	思いやりの心をもち、自他のいのちを大切に する豊かな人間性の育成	互いを認め合い、他者を思いやる心 情を育てるとともに、それらを実践 する力を高める。	◆教育活動全体を通して、自他の生命を尊重するいのちに関する特別授業を全学年で実施する。 ◆学校いじめ防止基本方針によるいじめ防止の取組を推進する。 ◆「特別の教科道徳」において、考え、議論する道徳教育の実践を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 ◆学校行事・委員会・係活動・たてわり班活動などを通して、集団への帰属感や連帯感を深め、協力してよりよい学校生活を築こうとする態度を育成する。	4 100%の教員が計画通りに実施している。	3 90%以上の教員が計画通りに実施している。	4 児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。
	心身ともに健康でたく ましく生きる力を育む	体力向上および食育推進の取組を通 して、児童がたくましく生きるため の知恵や体力を育てるとともに防災 意識を高める。	◆体力テスト、体力向上ハンドブック、ソトイコ等への取組を通して、身体を動かす楽しさ心地よさを味わわせ、基礎体力の向上を図る。 ◆オリンピック・パラリンピック教育を通して、本物のアスリートと触れ合う体験等により、スポーツ志向を高める。 ◆栄養士と連携した食育を推進し、心身の調和のとれた発達を促す体づくりを推進する。 ◆「命のノート」を活用し、生命の大切さを自己評価する機会を設定するとともに、防災安全教育を通して「自分の命は自分で守る」意識を高める。	4 100%の教員が計画通りに実施している。	3 90%以上の教員が計画通りに実施している。	4 児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。
学び	基礎基本の定着による 確かな学力の育成	基礎力となる知識・技能の確実な習 得を図る。	◆「学びの礎」・「六小学習ルール」に基づき全教員が統一して学習規律徹底を図る。 ◆ベーシックタイムにおいて、学習の基礎・基本の定着を図るとともに、学び残しゼロに向けた金曜道場を実施する。 ◆2年生以上算数における少人数を生かした習熟度学習を定着させる。 ◆授業にユニバーサルデザインの視点を取り入れ、聞く時間を減らし考える時間増やすことによる学習の構造化を図る。 ◆教員がICTを効果的に活用した授業、児童がICTを効果的に活用する授業をそれぞれの学級で週に1回以上行う。	4 100%の教員が計画通りに実施している。	3 90%以上の教員が計画通りに実施している。	4 児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。
	主体的・対話的に学 び、考え、発信する授 業の創造	問題解決的な循環型の学びを取り入 れた授業を充実させ、思考力・判断 力・表現力を育成し、それらを活 用・発展させる実践力を高める。	◆プログラミング教育を推進して、思考力・表現力を高め、確かな学びに結び付ける。 ◆タブレットパソコン活用して主体的・対話的な授業を実施する。 ◆地域教材・地域人材を活用した循環型の学習活動を進める。 ◆日本の伝統文化を学び合う体験活動を充実させる。	4 100%の教員が計画通りに実施している。	3 90%以上の教員が計画通りに実施している。	4 児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。
地域	学校、家庭、地域・社 会が一体となった「つ ながりによる教育」の 推進	P T A ・地域支援本部・自治会・地 域人材などを活用し豊かな体験活動 や学校環境整備を行う。	◆教職員がPTA活動や地域行事、育成会等に積極的に参加する。 ◆学校支援ボランティア等を活用し、豊かな体験活動や学校環境整備を行う。 ◆学校HPを毎週3回以上更新するとともに、学校・学年・学級 便り等、積極的な情報公開・広報を継続する。	4 100%の教員が計画通りに実施している。	3 90%以上の教員が計画通りに実施している。	4 児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。
	家庭教育力の向上によ る生活習慣の確立	基本的な生活習慣の徹底と児童一人一 人の防災意識を高める。	◆「のびゆく六小 学びの礎」「六小学習ルール」を活用し、「挨拶の励行」「きまりの遵守」の指導を徹底する ◆家庭学習のスキルの啓発を行う。 ◆サポートプランを活用して児童個別の課題を把握し、校内委員会・特別支援コーディネーター・スクールカウンセラー等と連携して組織的に対応する。	4 100%の教員が計画通りに実施している。	3 90%以上の教員が計画通りに実施している。	4 児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。
特別 支援 教育	ユニバーサルデザイン を意識した環境整備・ 授業改善	特別支援コーディネータを活用し、 ひのスタンダードの具現化を図ると ともに授業のUD化を推進する。	◆ひのスタンダードを基に月一回環境整備を行う。 ◆授業のユニバーサルデザイン化を進め、誰もがわかりやすい授業を創造する。 ◆毎月の校内委員会で各学年の特別支援コーディネーターを活用して、支援を要する児童についての共通理解と組織的な対応を行う。	4 100%の教員が計画通りに実施している。	3 90%以上の教員が計画通りに実施している。	4 児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。
				2 80%以上の教員が計画通りに実施している。	1 計画通りに実施した教員が80%未満である。	3 児童アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。
				1 計画通りに実施した教員が80%未満である。		2 児童アンケートで80%以上の児童が肯定的な評価をしている。
				1 計画通りに実施した教員が80%未満である。		1 児童アンケートで肯定的な評価をしている児童が80%未満である。

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。